

授業の視点：社会的事象を多面的・多角的に考察し、公正に判断する力を育む学習指導の在り方

第3学年*組 社会科学習指導案

1 単元 地方自治と住民の参加

2 単元の目標

- 自らが自らを治めるという地方自治の基本的な考え方と、地方公共団体の政治のしくみについて意欲的に追究しようとする。 (社会的事象への関心・意欲・態度)
- 民主的な政治と政治参加に関わる課題について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現することができる。 (社会的な思考・判断・表現)
- 地方自治の基本的な考え方と、地方公共団体の政治のしくみについて、資料の中から学習に役立つ情報を適切に選択して、読み取ったり、まとめたりすることができる。 (資料活用の技能)
- 地方自治は、住民参加による住民自治が基本であることや、地方公共団体の政治は、首長と議会の二つの機関を中心に行われていることを理解し、その知識を身に付けることができる。 (社会的事象についての知識・理解)

3 学習指導の方針

本単元では、地方公共団体の政治の仕組みや、住民の権利や義務に関連させて、地方自治の基本的な考え方について理解させ、地方自治の発展に寄与しようとする住民としての自治意識の基礎を育てることをねらいとしている。

実態調査

(平成*年*月*日 第3学年*組*人)

年功序列賃金と能力給のどちらがよいかを考え、判断した理由をできるだけ多く書きましょう。

・自分が選択した社会的事象の問題点や、もう一方の社会的事象の利点を記述できた生徒 *名

本学級の生徒の実態調査（平成*年*月*日実施、第3学年*組*人）において、年功序列賃金と能力給の制度について、どちらがよいかを考えさせた。その結果、判断の理由として自分が選択した社会的事象の問題点やもう一方の社会的事象の利点を記述できた生徒は*人だった。これまでも、「私たちがつくる社会」や、「憲法が保障する基本的人権」などの単元において、いろいろな立場から考えさせる学習活動を取り入れてきた。しかし、手立てが不十分だったため、複数の社会的事象の利点や問題点の全体を捉え、自分以外の視点も踏まえた論拠を示すことができず、多面的・多角的に考察し、公正に判断する力を育むことができなかった。

そこで、本単元では中学校第3学年公民的分野「地方自治と住民の参加」において、ロールプレイを行い三つのステップを踏まえて意思決定する学習活動を行う。まず、ステップ1では、資料を読み取りロールプレイの台詞をつくる。次に、ステップ2では、ロールプレイを行い互いの主張を伝え合う。最後に、ステップ3では、ステップ2までのワークシートへの記述内容を再考察して意思決定する。このような学習活動を通して、複数の社会的事象の利点や問題点の全体を捉え、自分以外の視点も踏まえて論拠を示すことができるようになり、社会的事象を多面的・多角的に考察し、公正に判断する力を育むことができると考え、本主題を設定した。

4 本単元の指導計画

		多面的・多角的に考察し、公正に判断する力を育む手立て(※)と評価(①)	
次	時	学習活動・内容	指導上の留意点
1	1	<p>人々が集まって一つの市をつくるためには何が必要だろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域にはどのような人が住んでいるかを考えて、自由に話し合いワークシートに記入する。 ○ 地方公共団体のしくみを調べて、ワークシートに記入する。 ○ 住民の権利を調べて、ワークシートに記入する。 <p>地方自治体の政治を行う機関や、住民の意見を政治に取り入れるためのしくみが必要です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ自治会に住んでいる人たちを想起して、ワークシートにまとめるなどを通して、地域にはいろいろな立場の人たちが住んでいることを理解できるようにする。 ・「吉田市にポイ捨て禁止条例を制定するなら、どのような手続きが必要なのか」「市長が公約を守らない場合、どのように住民の声を届ければよいのか」という問い合わせの基に、調べ学習を行わせ、地方自治のしくみや住民の権利を理解できるようにする。 <p>◎首長と議会の関係や、直接請求権について理解することができる。(ワークシート①)</p>
2	1	<p>地方自治体の問題は、どのように解決していくべきようだろ。</p> <p>吉田市では、限られた予算の中で、通学路に歩道をつくるか、高齢者の福祉施設を増設するか検討しています。どちらを選択するべきだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 資料を読み取り、ロールプレイでの役柄の台詞をつくる。 ○ 同じ立場のグループで主張を確認する。 <p>高齢者福祉の施設入所への待機者が、たくさんいます。また、通学路の歩道を建設するには、土地買収の問題点があります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第2次は、仮想の地方自治体である吉田市の住民として、通学の安全と高齢者福祉のどちらを重視すべきか意思決定する学習活動を通して、地方自治体の問題は、どのように解決していくべきかを考えることができるようとする。 ・仮想の吉田市の住民として最後に意思決定することを伝えて、意欲的に学習に取り組めるようとする。 ・二つの異なる立場を設定し、複数の資料を読み取らせて、様々な考えを引き出せるようにする。 <p>※与えられた役柄に有利となる情報を資料から読み取り、台詞をつくることで、自分が支持する社会的事象の利点と、相手が支持する社会的事象の問題点を理解できるようとする。</p> <p>◎自分が支持する社会的事象の利点と、相手が支持する社会的事象の問題点を理解することができる。(ワークシート②)</p>
2	2	<ul style="list-style-type: none"> ○ ロールプレイを行い主張を伝え合う。 ○ ロールプレイでの主張を基に、それぞれの利点と問題点をワークシートにまとめる。 ○ ワークシートを再考察して意思決定をする。 <p>高齢者福祉施設を増設しても、赤字経営になるという問題点や、通学路の歩道をつくると事故を防げるというよい点があることも分かりますが、高齢化が進む吉田市では、高齢者福祉施設の増設が重要だと思います。介護で働くことができない人のためにも高齢者福祉施設の増設が必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地方自治体の問題は、どのように解決していくべきかを考える。 <p>地方自治の問題は、地域の人たちで協力し合って解決することが大切だと思います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・役柄の異なる生徒がどのグループにも入るように設定し、様々な主張を伝え合えるようにする。 <p>※ロールプレイを行い主張を伝え合うことで、自分が支持する社会的事象の問題点と、相手が支持する社会的事象の利点を理解できるようとする。</p> <p>◎自分が支持する社会的事象の問題点と、相手が支持する社会的事象の利点を理解することができる。</p> <p>※ワークシートの記述内容を再考察することで、複数の社会的事象の利点や問題点の全体を捉え、自分以外の視点も踏まえて論拠を示すことができるようとする。</p> <p>◎地域の課題について、複数の社会的事象の利点や問題点の全体を捉え、自分以外の視点も踏まえて論拠を示すことができる。(ワークシート③)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・限られた予算で、解決できないことは、地方自治体の一員としてどうすればよいのか考えることを通して、地方自治における住民参加の大切さに気付くことができるようとする。
3	1	<p>地方自治体の一員として、地域の発展のために大切なことは何だろう。</p> <p>吉田市の公有林開発計画が出されました。つくるなら工場？総合運動公園？それとも公有林を残すべきだろうか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 資料を読み取り、ロールプレイでの役柄の台詞をつくる。 ○ 同じ立場のグループで主張を確認する。 <p>工場をつくれば、税収が増えて吉田市が豊かになります。また、公園をつくると維持費が必要となります。吉田市の公債費を減らすには工場をつくるべきです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第3次は、仮想の地方自治体である吉田市の住民として、経済、文化、環境のどれを重視するべきか考えて意思決定する学習活動を通して、地方自治体の一員として地域の発展に大切なことは何かを考えることができるようとする。 ・仮想の吉田市の住民として考え、最後に意思決定することを伝えて、意欲的に学習に取り組めるようとする。 ・三つの異なる立場を設定し、複数の資料をえることで、様々な考えを引き出せるようとする。 <p>※与えられた役柄に有利となる情報を資料から読み取り、台詞をつくることで、自分が支持する社会的事象の利点と、相手が支持する社会的事象の問題点を理解できるようとする。</p> <p>◎自分が支持する社会的事象の利点と、相手が支持する社会的事象の問題点を理解することができる。(ワークシート④)</p>
2	2	<ul style="list-style-type: none"> ○ ロールプレイにより、主張を伝え合う。 ○ ロールプレイでの主張を基に、それぞれの利点と問題点をワークシートにまとめる。 ○ ワークシートを再考察して意思決定をする。 <p>公有林を残しても、林業に従事する人が減少しているという問題点や、総合運動公園をつくれば防災の備えになるというよい点が分かりました。しかし、私は、未来に向けて環境を守りたいので、公有林を残すのがよいと思います。吉田市が行っている自然ふれあい事業を楽しみにしている人のためにも公有林を残すことに賛成です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地方自治体の一員として、大切なことは何かを考える。 <p>地方自治体の一員として、一人一人が地域のいろいろな立場の人のことを考え、自分たちの思いを伝えたり、行動したりすることが大切だと思います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・立場の異なる生徒がどのグループにも入るように設定し、様々な主張を伝え合えるようする。 <p>※ロールプレイを行い主張を伝え合うことで、自分が支持する社会的事象の問題点と、相手が支持する社会的事象の利点を理解できるようとする。</p> <p>◎自分が支持する社会的事象の問題点と、相手が支持する社会的事象の利点を理解することができる。(ワークシート⑤)</p> <p>※ワークシートの記述内容を再考察することで、複数の社会的事象の利点や問題点の全体を捉え、自分以外の視点も踏まえて論拠を示すことができるようとする。</p> <p>◎地域の課題について、複数の社会的事象の利点や問題点の全体を捉え、自分以外の視点も踏まえて論拠を示すことができる。</p> <p>(ワークシート⑤)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートで本単元の学習活動を振り返り、住民一人一人が地方自治体の発展を考え、行動することの大切さに気付くことができるようする。 <p>(ワークシート⑤)</p>

5 本時の学習

(1) 目標

仮想の地方自治体の課題を考察し、住民として地域の発展のために行動することの大切さに気付き、自分の言葉で表現することができる。

(2) 評価規準と指導の手立て

評価規準	十分満足できる状況	努力を要する生徒への手立て
◎仮想の地域の課題について考察し、意思決定することを通して、地域の発展を考え、自分の言葉で表現している。 (社会的な思考・判断・表現)	◎仮想の地域の課題について、考察し、意思決定することを通して、地域の発展を考え、行動することの大切さを理解し、自分の言葉で表現している。	◎意思決定する際に重要な良い点と問題点をワークシートにまとめる場面において、教師による個別の指導、ヒントを示した資料の提示を行う。

(3) 準備・資料

仮想の地方公共団体「吉田市」の課題に関する自作資料 ワークシート 自己評価カード

(4) 展開

社会的事象を多面的・多角的に考察し、公正に判断する力を育む手立て (※) と評価 (○)

学習内容及び活動	指導上の留意点
1 第3次の学習課題を確認する。 地方自治体の一員として、地域の発展のために大切なことは何だろう。	・前時に続き、仮想の地方自治体である吉田市の住民として、経済、文化、環境のどれを重視するべきか考えて意思決定する学習活動を通し、地方自治体の一員として、大切なことは何かを考えさせる。
2 本時の学習問題を確認する。 吉田市の、公有林開発計画が出されました。つくるなら工場？総合運動公園？それとも公有林を残す？	・立場の異なる生徒がどのグループにも入るように設定し、様々な主張を伝え合えるようにする。
3 ロールプレイにより、主張を伝え合う。 4 ロールプレイでの主張を基に、それぞれの利点と問題点を、ワークシートにまとめること。 5 ワークシートを再考察して意思決定をする。 予想される生徒の記述例 公有林を残しても、林業に従事する人が減少しているという問題点や、総合運動公園をつくれば防災の備えになるというよい点が分かりました。しかし、私は、未来に向けて環境を守りたいので、公有林を残すのがよいと思います。吉田市が行っている自然ふれあい事業を楽しみにしている人のためにも公有林を残すことに賛成です。	※ロールプレイを行い主張を伝え合うことで、自分が支持する社会的事象の問題点と、相手が支持する社会的事象の利点を理解できるようになる。 ※ワークシートの記述内容を再考察することで、複数の社会的事象の利点や問題点の全体を捉えて、自分以外の視点も踏まえて論拠を示すことができるようになる。
6 本時のまとめをする。 (1) 地方自治体の一員として、地域を発展させるために大切なことは何かを考える。 地方自治体の一員として、一人一人が地域のいろいろな立場の人たちを考え、自分たちの思いを伝えたり、行動したりすることが大切だと思います。	◎地域の課題について、複数の社会的事象の利点や問題点の全体を捉え、自分以外の視点も踏まえて論拠を示すことができる。 (ワークシート⑤) ・ワークシートで本单元の学習活動を振り返り、住民一人一人が地方自治体の発展を考え、行動することの大切さに気付くことができるようになる。
(2) 自己評価カードへの記入をする。	◎仮想の地方自治体の課題を考察し、住民として地域の発展のために行動することの大切さに気付き、自分の言葉で表現することができる。 (ワークシート⑤)